大船渡市 津波ハザードマップ 全域版

縮尺　1:35,000　　令和5年3月作成

第一避難場所（津波によるもの）

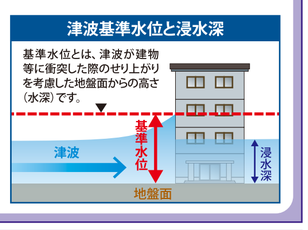
地区	名称
盛町	天神山公園
	盛小学校グラウンド
	貴船神社付近高台
	リアスホール駐車場
大船渡町	海の星幼稚園園庭
	地ノ森公園
	岩渕内科医院付近
	台町ＢＲＴ西側高台
	大船渡保育園園庭
	大船渡北小学校グラウンド
	大船渡地区公民館付近
	加茂神社境内
	大船渡中学校グラウンド
	ＢＲＴ上高台
	下船渡公民館付近
末崎町	船河原高台
	長源寺境内
	中野公民館付近
	熊野神社境内（神坂）
	末崎こども園園庭
	梅神高台
	門之浜公民館付近
	大豆沢高台
	市立博物館付近高台
赤崎町	主要地方道上高台
	佐野高台
	八坂神社境内
	赤崎小学校グラウンド
	赤崎駅付近高台
	東朋中学校グラウンド
	主要地方道上高台
	主要地方道上高台
	蛸ノ浦高台
	鳥沢高台
	担い手センター高台
	合足高台

地区	名称
三陸町綾里	小石浜公民館付近
	砂子浜生活改善センター付近
	岡田荘駐車場
	野々前ポンプ置場
	綾里駅前広場
	旧綾里地域振興出張所付近
	旧綾里こども園グラウンド
	長林寺境内
	旧綾里中学校グラウンド
	田浜地内市道・避難道交差箇所手前付近高台
	市道川上線田浜上１号橋付近
	主要地方道八ヶ森方向高台
	主要地方道トンネル入口付近
	小路部落公民館付近
三陸町越喜来	市道佐須の沢線上砂防ダム付近
	旧崎浜小学校駐車場
	正源寺境内
	山村広場
	越喜来小学校グラウンド
	仲区公民館付近
	南区公民館付近
	泊地区公民館付近
	ビアン駐車場
	甫嶺地域防災コミュニティセンター付近
	鬼沢地区集会所付近
三陸町吉浜	千歳部落公民館付近
	真称寺山門前
	扇洞会館付近
	吉浜地区拠点センター付近
	旧中井ドライブイン付近
	横石地内市道吉浜越喜来線高台
	増舘会館付近

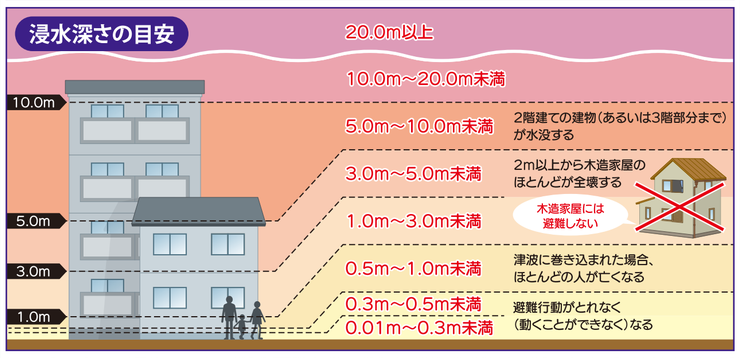
津波ハザードマップについて

- この津波ハザードマップは、岩手県が公表した津波浸水想定に、平成23年東日本大震災津波の浸水範囲、明治29年三陸地震津波、昭和8年三陸地震津波、昭和35年チリ地震津波における最大浸水範囲を重ね合わせて表示しています。
- 岩手県が公表した津波浸水想定を基準水位で表示しています。基準水位は、浸水深に津波が建物等に衝突した際にせり上がる高さを加えた水位です。
- 津波浸水想定は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を示したものです。
- 津波から命を守るために、日頃から避難場所などを確認し、いざという時に迅速かつ適切な避難行動がとれるようにしておきましょう。

津波基準水位と浸水深



浸水深さの目安



凡例

- 第一避難場所（津波によるもの）
  ※第二避難場所（避難所；避難所生活をおくる場所）については、裏面の町別拡大版で確認してください。
- 津波避難ビル
- 鉄道
- 自動車道
- 国道
- 明治29年（1896年）三陸地震津波・昭和8年（1933年）三陸地震津波・昭和35年（1960年）チリ地震津波における最大浸水範囲
- 平成23年（2011年）東日本大震災津波の浸水範囲
  ※津波の浸水範囲は、空中写真等から推定した部分も含まれるため、実際とは異なる場合があります。

津波浸水想定区域（基準水位）

- 0.01～0.3m未満
- 0.3～0.5m未満
- 0.5～1.0m未満
- 1.0～3.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 10.0m～20.0m未満
- 20.0m以上

正しい情報を入手しましょう

大船渡市では緊急地震速報や津波警報、避難情報などの防災情報を防災行政無線、エリアメール、ツイッター、SNS、FMラジオなどさまざまな手段を通じて市民の皆様にお知らせしています。正しい情報を入手し、「早めの避難」「落ち着いた行動」を心がけましょう。

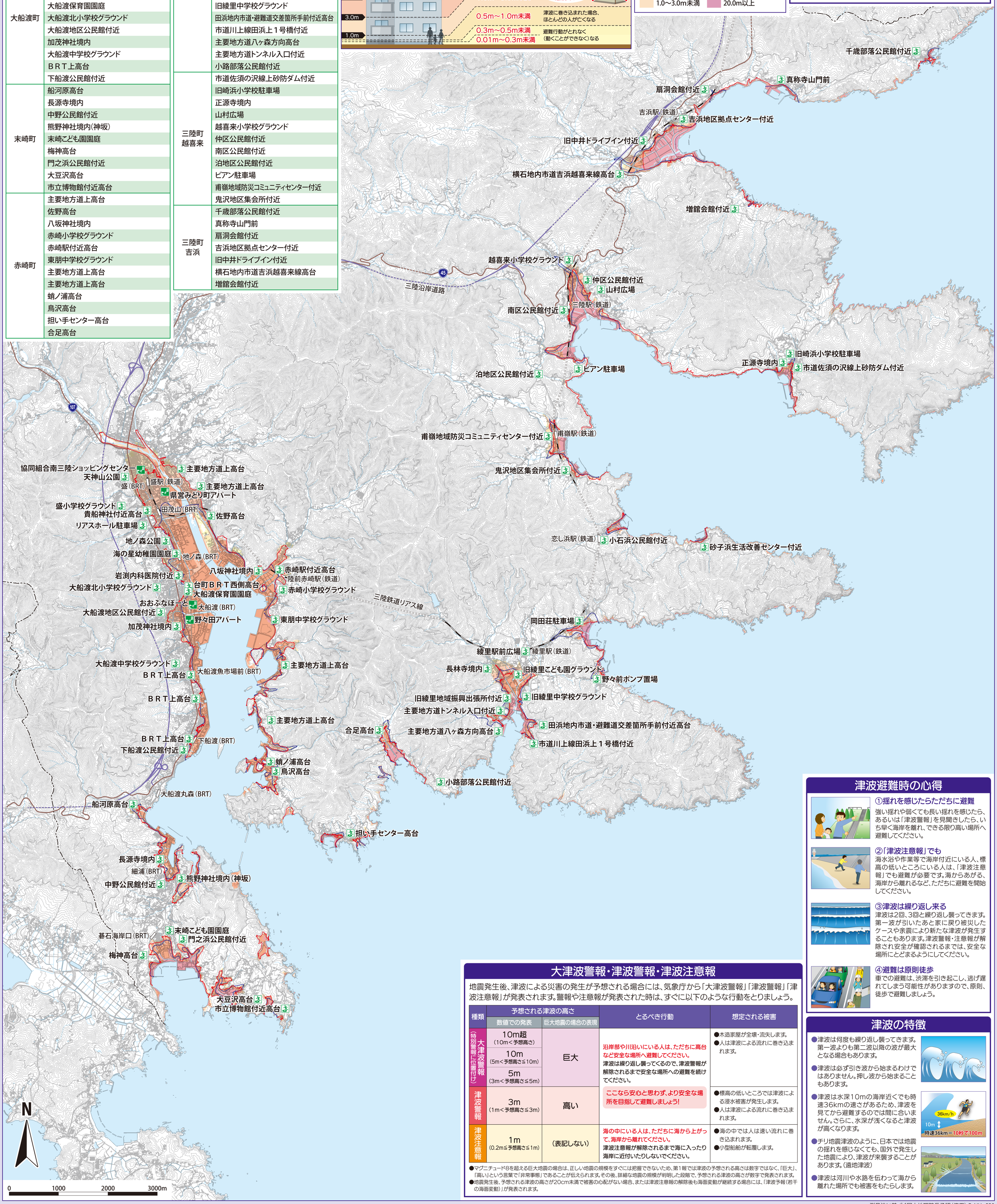
大船渡市ホームページ
https://www.city.ofunato.iwate.jp/

大船渡市公式ツイッター
https://twitter.com/ofunato_city

大船渡市公式facebook
https://www.facebook.com/ofunato.city/

大船渡市公式LINEアカウント
LINE ID：@ofunato_city　※ID検索の上、友だち追加してください。

FMねまらいん
FM　87.5MHz



大津波警報・津波警報・津波注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁から「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。警報や注意報が発表された時は、すぐに以下のような行動をとりましょう。

種類	予想される津波の高さ：数値での発表	予想される津波の高さ：巨大地震の場合の表現	とるべき行動	想定される被害
大津波警報（特別警報に位置付け）	10m超（10m＜予想高さ）	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。 ここなら安心と思わず、より安全な場所を目指して避難しましょう!	●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m＜予想高さ≦10m）			
	5m（3m＜予想高さ≦5m）			
津波警報	3m（1m＜予想高さ≦3m）	高い		●標高の低いところでは津波による浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（0.2m≦予想高さ≦1m）	（表記しない）	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 ●小型船舶が転覆します。

●マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、第1報では津波の予想される高さは数字ではなく、「巨大」、「高い」という言葉で「非常事態」であることが伝えられます。その後、詳細な地震の規模が判明した段階で、予想される津波の高さが数字で発表されます。
●地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」が発表されます。

津波避難時の心得

①揺れを感じたらただちに避難
強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、あるいは「津波警報」を見聞きしたら、いち早く海岸を離れ、できる限り高い場所へ避難してください。

②「津波注意報」でも
海水浴や作業等で海岸付近にいる人、標高の低いところにいる人は、「津波注意報」でも避難が必要です。海からあがる、海岸から離れるなど、ただちに避難を開始してください。

③津波は繰り返し来る
津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。第一波が引いたあと家に戻り被災したケースや余震により新たな津波が発生することもあります。津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは、安全な場所にとどまるようにしてください。

④避難は原則徒歩
車での避難は、渋滞を引き起こし、逃げ遅れてしまう可能性がありますので、原則、徒歩で避難しましょう。

津波の特徴

- 津波は何度も繰り返し襲ってきます。第一波よりも第二波以降の波が最大となる場合もあります。
- 津波は必ず引き波から始まるわけではありません。押し波から始まることもあります。

- 津波は水深10mの海岸近くでも時速36kmの速さがあるため、津波を見てから避難するのでは間に合いません。さらに、水深が浅くなると津波が高くなります。

- チリ地震津波のように、日本では地震の揺れを感じなくても、国外で発生した地震により、津波が来襲することがあります。（遠地津波）
- 津波は河川や水路を伝わって海から離れた場所でも被害をもたらします。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 520